

- 工事申告は書類NO.B300 設置工事申告(マンション簡易申請)の「作成」ボタンより申告できます。
- 「作成」ボタンを押下するためには以下の2つの書類が「登録済」となっている必要があります。

書類NO.6900 会社別請求書一覧、書類NO.3000 充電設備情報

【充電】実績報告申請一覧

管理NO	402639	申請者名	〇〇株式会社 日本橋支店	事業区分	(基礎充電) マンション等_簡易申請
申請者区分	法人格をもたないマンション管理組合	設置場所名称	××マンション		
充電設備補助金実績申請額	8,000				
設置工事補助金実績申請額	0				
充電設備設置に係る補助金実績申請額(合計)	8,000				

※なお、資本関係のある会社から調達を受ける場合、補助金申請額より利益相当額を排除します。
※上記申請額は実績の入力情報を基に算出された金額です。交付決定額を上限とした見込額は右の『見込額確認』ボタンより確認してください。

見込額確認

連絡事項

書類一覧

上から順に入力、確定してください。

検索結果：12 件

書類NO	書類名称	提出条件	状態	編集	帳票	受付結果
6900	会社別請求書一覧	見積書を提出した会社全ての請求書を準備して入力	登録済	作成	確認	
3000	充電設備情報	書類NO.B300を「確定」後に、再度「確定」ボタンを押すと、書類NO.B300を再度確認し、「確定」をする必要がある。	登録済	作成	確認	
B300	設置工事申告額(マンション簡易申請)	工事費用と工事内容の申告 書類NO.6900/NO.3000の「確定」後に入力可能	1	作成	確認	
6700	実績日			作成	確認	

戻る

申請

1 「作成」を押下してください。

◆充電設備等設置工事申告の画面構成

【充電】（実績時）設置工事申告額（マンション等簡易申請）

管理NO
設置場所名称

a

××マンション

入力額の確認

①請求総額

1,000,000

【6900：会社別請求書一覧】で入力した総額が表示されます。

②充電設備請求総額

50,000

【3000：充電設備情報】で入力した購入価格の総額（購入価格×基数）が表示されます。

③工事請求総額

950,000

①請求総額－②充電設備請求総額（③＝①－②）の額が計算され表示されます。

④工事申告額

0

本ページで入力した申告額の合計が計算されます。（一時保存もしくは確定ボタンを押した時）

⑤他の工事

950,000

③工事請求総額－④工事申告額（⑤＝③－④）の額が計算され表示されます。
※⑤他の工事の結果がマイナスの場合、確定はできません。

■工事実績の申告について

・初回に表示される額は交付で申告した額です。変更がない場合は額の確認および、必須項目の入力等を行い確定ボタンを押してください。

・申告額や工事内容の申告に変更がある場合は、変更内容に応じて修正し申告してください。

ただし、工事内容の変更については事前に計画変更の届けが必要です。

(1) 充電設備設置工事費

①充電設備設置工事

ア、基礎・据付

記号

A 1

申告額(税別)

0

工事内容の申告

数量

コンクリート現場打ち（型枠あり）

0

コンクリート現場打ち（型枠なし）

0

コンクリート既製品

0

金属製のポール・梁台

0

アンカーのみ

0

ビス等で固定

0

木枠や鋼製の型枠を用いたコンクリート基礎の数量

型枠を用いない場合や簡易型枠(ボイド管)にてコンクリート基礎を作成する基礎の数量

既製ブロックや中空ブロックを用いたコンクリート基礎の数量

金属製の梁台や金属支柱（ポール）を用いた基礎の数量

既存のコンクリート面等に固定する場合のアンカーの数量（例：1基*4本の場合は4）

壁面等に固定するビス等の数量（例：1基*4本の場合は4）

イ、給入・運搬

記号

A 2

申告額(税別)

0

充電設備本体等を入搬・運搬する費用

②電気配線工事費

記号

A 3

申告額(税別)

0

工事内容の申告

数量

電気配線工事

○有

☒無

配管工事

○有

☒無

ブレーカー工事

0

間隔器設置工事

0

建柱工事

○有

☒無

設置する充電設備等を稼働するための電気配線工事を申告する場合は「有」

上記配線のための配管工事を申告する場合は「有」

充電設備等の回路を保護するために必要なブレーカーの数量

上記ブレーカー等を取り付ける盤（引込盤、分電盤など）の数量

引込や架空配線等で必要となる建柱工事を申告する場合は「有」

a.入力金額の確認

以下の3項で入力した内容が計算され、表示されます。

1：書類NO.6900 会社別請求書一覧

2：書類NO.3000 充電設備情報

3：本画面の申請額

※本画面の「一時保存」または「確定」を押下すると再計算されます。

b.工事項目名

申告できる工事項目名。

c.記号

各工事項目ごとの計上項目先番号。

d.申告額

申告する工事金額の入力。

交付申請時の申告額が入力されています。

変更する場合は、正しい金額に修正してください。

e.工事内容の申告と数量

交付申請時の内容が反映されています。

行った工事の有無や数量を確認してください。

行っていない工事等については、入力不要です。（必須除く）

©2009 Next Generation Vehicle Promotion Center

◆充電設備設置工事費【A1～5】

- 1

2
- ① 交付申請時の申告額が表示されていますので、変更がある場合は修正してください。

② 交付申請時の工事項目ごとに有無の選択、該当工事の数量が表示されていますので、変更がある場合は修正してください。
- ※【A5】は「同一敷地内複数契約を可能とする特別措置」に基づく申請をした場合に、電力会社が申請者等に請求する工事負担金を申告する場合は入力してください。

(1) 充電設備設置工事費					
①充電設備設置工事	記号	申告額(税別)	工事内容の申告	数量	
ア. 基礎・据付	A 1	0	コンクリート現場打ち (型枠あり) コンクリート現場打ち (型枠なし) コンクリート既製品 金属架台(支柱・ポール) アンカーのみ ビス等で固定	0 0 0 0 0 0	木枠や鋼製の型枠を用いたコンクリート基礎の数量 型枠を用いない場合や簡易型枠(ボイド管)にてコンクリート基礎を作成する基礎の数量 既製ブロックや中空ブロックを用いたコンクリート基礎の数量 金属製の架台や金属支柱 (ポール) を用いた基礎の数量 既存のコンクリート面等に固定する場合のアンカーの数量 (例: 1基*4本の場合は4) 壁面等に固定するビス等の数量 (例: 1基*4本の場合は4)
イ. 搬入・運搬	A 2	0	充電設備本体等を搬入・運搬する費用		
②電気配線工事費	記号 A 3	申告額(税抜) 0	工事内容の申告	数量	
			電気配線工事 配管工事 ブレーカー工事 開閉器盤設置工事 建柱工事 デマンド工事 録金デバイス工事	* ☐有 ☐無 * ☐有 ☐無 0 0 * ☐有 ☐無 * ☐有 ☐無 * ☐有 ☐無	設置する充電設備等を稼働するための電気配線工事を申告する場合は「有」 上記配線のための配管工事を申告する場合は「有」 充電設備等の回路を保護するために必要なブレーカーの数量 上記ブレーカー等を収める盤 (引込盤、分電盤など) の数量 引込や架空配線等で必要となる建柱工事を申告する場合は「有」 デマンドコントロールのみを行う機器等の設置工事を申告する場合は「有」 今回設置予定のEV充電設備の利用料金を徴収する為の録金装置を設置する場合は「有」
④特別措置に基づく受電工事費	A 5	0	同一敷地内複数契約を可能とする特別措置の際の電力会社からの工事負担金		

◆その他の設置に係る費用【A13～A20】

- 3
- 4
- 交付申請時の申告額が表示されていますので、変更がある場合は修正してください。
- 【A19】スペース造成工事の有無の選択をし、「有」の場合は「A」を入力してください。

(4) その他設置に係る費用			
	記号	申告額(税込)	
① 雑材・消耗品費、養生費	A 1 3	0	
② レイアウト検討費			
図面作成費	A 1 4	0	センターが求める図面の作成にかかる費用
レイアウト協議費	A 1 5	0	申請する充電設備の設置・配置に関する検討にかかる費用
電力会社協議費	A 1 6	0	特別措置における電力会社との協議、立会等にかかる費用
③ 安全誘導員費	A 1 7	0	工事期間中に発生する歩行者等に対する安全管理の目的で配置する安全誘導員の労務費
	記号	申告額(税抜)	工事内容の申告
⑤ 充電スペース造成費	A 1 9	0	スペース造成工事
			4 ☒有 ☐無 スペース造成が必要な理由 A ※センターが認めた場合のみ補助対象となります。
⑥ 現場監督等の労務費	A 2 0	0	

◆特別措置の利用確認

5 交付申請時に特別措置の申告をしている場合、特別措置の工事費用について選択してください。

A 支払いがある場合はアップロードしてください。

特別措置の利用確認

■同一敷地内複数契約を可能とする特別措置の工事費用の確認

☐特別措置の工事を行ない工事費を支払った。

☐工事費は掛からなかったため、支払いはない（工事負担金0円）。

5

電力会社支払証書のアップロード

アップロード

A

◆アップロード書類

6 充電スペース造成工事で「有」を選択した場合、書類をアップロードしてください。
「無」の場合は、アップロード不要です。

記号

申告額(税抜)

工事内容の申告

スペース造成が必要な理由

⑤充電スペース造成費

A 1 9

スペース造成工事

☒有

☐無

※センターが認めた場合のみ補助対象となります。

⑥現場監督等の労務費

A 2 0

アップロード書類

書類名称	状態	ファイル	ファイル名/アップロード日時	アップロード	センターコメント
施工後_造成写真				6 アップロード	

◆工事の確認

- 7 補助対象に関わらず、行った工事は「有」、行っていない工事は「無」を選択してください。
※「有」を選択した項目は、施工後要部写真にアップロード項目が表示されます。

工事の確認

・路面表示の設置の有無

☐有

☐無

充電スペース内に路面表示（路面シート、文字）の設置を行った場合は「有」にチェックしてください。
上記以外は「無」にチェックしてください。

・屋根の設置の有無

☐有

☐無

充電設備本体等とメンテナンススペースおよび充電スペースを雨等から保護する屋根設置工事を行なった場合は「有」にチェックしてください。
上記以外は「無」にチェックしてください。

・小屋の設置の有無

☐有

☐無

充電設備本体等を豪雪・火山灰等から保護する小屋設置工事を行なった場合は「有」にチェックしてください。
上記以外は「無」にチェックしてください。

・充電設備防護用部材の設置の有無

☐有

☐無

充電設備本体等を保護する目的のU字型、I型の防護用部材を設置した場合は「有」にチェックしてください。
上記以外は「無」にチェックしてください。

補助金交付額はセンターの審査により決定いたします。

戻る

一時保存

確定

◆確定

- 8 すべての入力、アップロードが完了しましたら「確定」を押下してください。
エラーメッセージが表示される場合は、修正後、再度「確定」を押下してください。

エラーメッセージ例

複数件メッセージが存在します。▼ 詳細

電気配線工事の有無は必須です。

配管工事の有無は必須です。

建柱工事の有無は必須です。

デマンド工事の有無は必須です。

課金デバイス工事の有無は必須です。

※「確定」を押下後、下記表示が出る場合は、申告額の入力がされていない状態です。
申告する場合は「キャンセル」を押下し、再度、入力内容を確認してください。

fa3dev.charge.cev-pc.or.jp の内容

工事申告額の合計が0円です。
このまま申請されますと『工事補助金額は0円』となります。

OK

キャンセル